

令和3年度

麻布大学教育セミナー

(市民公開講座)

後援:神奈川県相模原市、島根県美郷町、麻布大学同窓会



プログラム

「人の環境、動物の環境」

講師:江口 祐輔

(麻布大学フィールドワークセンター長)

【第1部】

13:00~13:45 (終了後質疑応答)

環境と社会の変化が動物に与える影響

【第2部】

14:00~14:45 (終了後質疑応答)

野生動物との共存・共生に必要なこと

開催趣旨

麻布大学は、本学の教育研究の理念である「人、動物、環境の共生をめざして」について、大学で生まれたこの分野のさまざまな研究成果や磨かれた技術を社会に発信し、社会の発展に貢献する目的で、麻布大学教育セミナーを開催します。

麻布大学 学長

日時

令和3年

11月27日(土)
13時~15時

(受付開始:12時30分から)

一般参加申込み方法

メール(sotsugo@azabu-u.ac.jp)又は、
FAX(042-769-1938)にて、

- ・代表者の氏名/参加人数
- ・連絡先

をお伝えください。(先着70人)

当方より折り返し御連絡いたします。

御参加の方は、当日のマスクの着用・手指消毒・
検温に御協力ください。

学内関係者はリモートにて聴講できます。

会場

麻布大学 大教室

アクセス



キャンパスマップ



正門 ⇒至 矢部駅

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

【問合せ先】麻布大学 地域連携・渉外課 Email:sotsugo@azabu-u.ac.jp

Tel:042-754-7111(代)

Fax:042-769-1938

プログラム紹介

【第1部】

環境と社会の変化が動物に与える影響

野生動物は、自然環境の変化にとどまらず、人の社会環境の変化によっても大きく自分たちの生活を変えてしまう。

生きること懸命な野生動物の環境変化に対する行動や生態について紹介すると共に、私たちの生活様式や環境への関わり方を考える。

【第2部】

野生動物との共存・共生に必要なこと

人が野生動物を理解するときどうしても人の目線で評価をしてしまいがちである。人の価値観(目線)で評価してしまうことで野生動物に対して間違った対応を行ってしまうことが多い。

そこで、動物の目線で動物を理解すると新たな共存共生の道が開けることを紹介する。



演者紹介



麻布大学
フィールドワークセンター長

江口 祐輔

プロフィール

- 1992年3月 麻布大学 獣医学部 環境畜産学科 卒業
- 1995年3月 麻布大学大学院 獣医学研究科 動物応用科学 専攻修士課程 修了
- 1998年3月 麻布大学大学院 獣医学研究科 動物応用科学 専攻博士課程 修了
- 1999年1月 科学技術振興事業団科学技術特別研究員
- 2000年4月 農林水産省中国農業試験場研究員
- 2003年1月 麻布大学獣医学部講師
- 2008年4月 (独)農研機構近畿中国四国農業研究センター 主任研究員
- 2016年4月 (国研)農研機構西日本農業研究センター 鳥獣害対策技術グループ長
- 2021年4月 麻布大学 生命・環境学部 教授
麻布大学フィールドワークセンター長

フィールドワークセンター紹介

麻布大学フィールドワークセンターは、人と動物と自然との共生を目指し、野生動物の行動および鳥獣害対策、資源利活用、地域づくりの先駆的な教育・研究を行う施設です。

本学は、これまでも長年にわたって美郷町および島根県と連携してきました。野生動物による農作物被害を逆手に取って、住民とともに実施してきた被害対策と地域づくりや野生動物と人との共生を理念にしたイノシシ肉の利活用は、先駆的な取り組みとして全国から注目を浴びています。

今後は、フィールドワークセンターをますます活用し、獣害対策や野生動物の資源利用、農業や地域づくりに取り組む企業や団体、行政、高校と連携して教育研究活動を展開していきます。

【フィールドワークセンター所在地】

〒699-4621 島根県邑智郡美郷町粕淵161 番地



2021年4月開設 フィールドワークセンター外観